

東桜学館中学校高等学校 思考力創造プロジェクト(仮称) 実施要項

研究課

1 目的

生徒の思考力・読解力を高めることで、より効果的に探究的な学びを深めるため

2 理由

- (1) 思考力・読解力の欠如が生徒の主体的な学びの妨げになっている事例が多く、改善を要する

(教科指導の中で「どうしてこんな簡単な問題につまずくかわからない」、「読めばわかるのに」、「ほとんど考えなくとも解けるのに」と教員側が思ってはいるが対策を打てなかった事例の背景に、思考力・読解力の欠如があるとの認識)

- (2) 同様に、探究活動において、それらの欠如が根拠や理由を明らかにして思考・判断・表現することを困難にしている事例が多く、改善を要する

(探究の指導や評価に際して、恣意的な結論付けや疑問と調査手法のミスマッチに多く出会うが、その背景に思考力・読解力の欠如があるとの認識)

3 手法

- (1) 思考力や読解力を要する問題に際して、本校生徒が陥りやすい「つまずき」(のパターン)を発見し、職員で共有する

- (2) その「つまずき」を克服する指導法や声掛け(共通の言葉)を開発し、実行する

4 今後の流れ

- (1) 11月職員会議での説明と情報交換(20分)

- (2) 11月～12月中旬の教科会における話し合い

教科に共通する生徒のつまずきの事例、よくつまずく問題をあげ、まとめる
(教科主任は会場にて別紙を持参し教科会でご利用ください)

- (3) 12月13日(金)まで、各教科の報告提出

【¥¥teachers5¥01_部課¥06_研究課¥中高共通(ロゴなどはこちら)¥授業研究
¥校内研究 R6¥思考力創造プロジェクト報告資料】にデータにて提出

- (4) 担当が12月職員会議にて各教科に共通する「つまずき」のパターンを報告、対策となる指導法や声掛け(共通のことば)について共有(10分)

- (5) 共有されたことの実践